



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ●副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ●会報委員長 小林 浩太郎

第2978回例会 (令和7年3月24日)



ホームページQR

[表彰贈呈行事]

米山記念奨学会より

米山功労者感謝状

●土屋 勝浩さん



[会長挨拶]

金子 良夫 会長

土曜日は、P e t sが開催されました。ペットというのは次期会長の研修です。これを受けていないとクラブ会長になる資格を得られません。週末参加いただいた窪田エレクトは、正式に会長となる資格を得たということです。昨年は、白樺湖での一泊研修は大雪でした。白樺湖に行く途中、何台ものスリップ事故をみました。会場に四苦八苦してたどり着いたことが懐かしく感じられます。早いもので、1年があつという間に過ぎ、あと三ヶ月で会長職も終わります。主な行事は家族旅行を残すのみとなりました。今年の家族旅行は、甲州、ワインの旅に決まりました。皆様の振るっての参加をお待ちしています。

雪の話をしてしましたが、この週末は暖かくなり、タイや交換の時期が来ました。各地で桜の開花宣言も出ました。信州の春も待ち遠しく、上田城の千本桜はいつ、咲くのか楽しみです。

さて、来週は、タイ国、ワットシンロータリークラブのメンバー8名と通訳2名が来訪されます。1月末に当クラブから訪問したことへの返礼に来られます。日本のロータリークラブの例会に出てみたいという希望がありました。ロータリーメンバーですから、メーキャブとなりますし、海外のメンバーを喜んでお迎えするのですが、

お迎えにあたり例会が普段とは変則となります。まず国際儀礼としてタイ国国歌を歌います。その後、第一例会ですので「君が代」、「奉仕の理想」と続きます。代表の方のお礼のスピーチがあります、ワットシンクラブメンバーの方が踊りをご披露しますが、後はいつもの例会となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

[メインプログラム]

タイ ワットシンRC訪問の報告

◆金子 良夫 会長

1. ロータリーのマジックを実際に感じたかった



本日の例会前に、うれしい感想を伺いました。それは、原峠保養園の先生の感想です。「いろいろな支援を受けているけれど、上田ロータリークラブだけ子どもたちの目線に立っていてくれた」というものでした。具体的に言うと施設には金銭・物資的な支援はたくさん来るけれど、ロータリークラブだけは、子どもたち一人一人にお菓子袋のクリスマスプレゼントを手渡したり、子どもの目線に立ち気配りしてくれたというのです。実際に保養園に伺ったメンバーは、あの時の子どもたちの笑顔から「ロータリーのマジック」を感じただろうと思います。

上田RCでは、昨年からタイ国ワットシンロータリークラブを通じてのタイ、チャイナート県の子どもたちへの学費等支援を始めました。2年目の今年度は現地を訪問しました。ただお金を出すだけではなく、実際に現地に伺い子どもたち一人一人に直接お金を手渡し、この事業の成否を見極めようと思ったからです。日程は1月27日出国、2月2日帰国、機中泊2日というもので前期高齢者の身には応えるものでしたが、行った感想は子どもたちに支援金を直接手渡せて良かったというものでした。現地のワット(寺院)をお借りした贈呈式には380人の子どもたちが集まりました。私たちは子どもたちの目線に立ち

一人一人に支援金を手渡しました。お金だけではなく、日本から持って行った千羽鶴の折り紙やお菓子も子どもたちに直接手渡しました。あげるたびに子どもたちは跪き丁寧なお辞儀をしてくれました。子どもたちの目は輝いていて、ここでも「ロータリーのマジック」を見た気がしました。

今回の視察旅行では、横沢会員が支援したバンコク近郊の小学校のトイレ改修なども直接見てきました。現地を見ると、やはり日本より厳しい現状がありました。トイレ事情もそうですし、学校周辺の住居を見ても、日本より大変な環境に置かれていることがわかります。先ほどのチャイナート周辺でも同じような感想を持ちました。

2. 「国際奉仕」私たちに何ができるか

基本方針を立てるときに悩むことは「国際奉仕」についてです。何をどうしていいのかわからない、交流する直接の相手は見つからず、1クラブでは国際奉仕は切り口が見つかりません。横沢さんが個人的に長年支援を続けてきたタイ国との支援交流についてお話を伺い、私の結論は共感できるならば微力ながら協力させていただくのが良いのではないかと感じました。今年、タイに赴いて現地の様子を見てみたいと思ったのは、2年目となったこの国際奉仕は果たしてこのまま継続すべきかどうか直接この目で見て判断するためです。私の答えは「Yes」でした。冒頭で述べたように「子どもたちの目線」に立ち、直接支援金を手渡すものだったからです。そこには途上国にありがちな中抜きはなく、支援が直に届くものだったのです。この支援、横沢さんが始めたときは数十人が集まるだけだったそうです。今や380人の子どもたちが集まる支援になってきました。支援ロータリークラブもワットシンクラブだけではなく、同じチャイナート周辺他クラブも参加または見学しに来ていました。ロータリー中では輪が広がっているのです。当日、日本のロータリーが来訪して支援に協力してくれるようなクラブならば是非ロータリーに入りたいと入会希望者も現れました。奉仕というのは継続しないと意味がありません。1年で終わりというならば、相手にとってあまりにも失礼なものです。原峠保養園の子どもたちの笑顔を見た者は、安価なプレゼントでこんなにも喜んでもらえるなんて感動すら覚えたはずです。あの笑顔を見た者は1年限りの支援で止めようとする者はいないはずです。私たちがタイ国チャイナートの地で見た感想も原峠で得たものと同じです。私たちのクラブにとってこの始まったばかり国際支援が一層続くようにと考えるものです。

◆藤森 幸路さん

金子会長のご挨拶に続きまして、2025年1月30日に国際奉仕活動として訪タイしました活動内容をご報告させていただきます。



この支援活動はMANABI外語学院が2017年よりタイのMANABIR Cと合同で実施している活動で、自立支援の必要な児童生徒たちへの教育支援活動として行っています。昨年からは上田ロータリークラブとして支援活動に賛同いただき、今回は直接現地に赴き支援金授与式の参加をいたしました。

金子会長と酒巻幹事の両名には現地の子供たちやそれを見守る大人たちからの感謝の気持ちを強く感じていただきました。

MANABIR Cにつきましてご紹介いたします。場所はバンコクから距離にして213km、車で2時半から3時間かかるチャイナート県に位置しています。

●クラブ名：Rotary Club of Watsingh (D.3350 Thailand)
国際ロータリー 第3350地区 創立42年

●現在の人数：71名

●男女比：女性 54名、男性 17名

●職業分類：主婦、個人事業主(営業、印刷メディア、建設請負業者、ガソリンスタンドオーナー、自動車修理工場オーナー、ガラス・鍛鉄・ステンレスのお店、ホテルオーナー)、公務員教師、年金受給公務員(教師、看護師、灌漑職員、チャイナート県の元教育職員)、弁護士、生命保険代理店

●ワトシンロータリークラブの主な活動内容

1. 児童・学生に奨学金
 2. 障害者や貧困者に経済的援助
 3. 貧しい人々のために住宅を修復(1年に1軒の家)
 4. 障害者への車椅子の提供
 5. 貧困地域の学校にきれいな水フィルターを提供
- 活動1～3番は毎年実施し、4と5番は寄付者や要望があった場合に実施します。

ワトシンR C
マツマ・タイサティット
現会長



国際ロータリー第3350地区
カセンシリ・ジチュン
ガバナー補佐

カセンシリ・ジチュン
ガバナー補佐が2017年上田
市内のMANABI外語学院へ訪問された際に、ワトシン
RCの一員としての活動している内容を聞いた弊社会長の
横沢とのつながりが始まりで、2017年以降、カセンシリ
さんのご提案とご協力の下、MANABI外語学院として
教育支援活動を支援してまいりました。

弊社タイ事務所にて、
到着日に子どもたちに渡す
支援金を準備している様子
です。

チャイナートへ到着後
すぐにカセンシリ・ジチュンガバナー補佐を交えて
両クラブの活動報告を行いました。

こちらのホテルはSUWANNA RIVERSIDです。



このホテルのオーナーはRCのメンバーで宿泊費を
無料で用意してくださいました。今後日本のRCメン
バーが来たらいつでも無料で準備しますと言ってくだ
さいました。日本人が宿泊したのは私たちだけです。

2025年1月29日 歓迎式を準備してくださったので
様子をご紹介します。



1月30日支援金授与式が行われました様子をご紹介します。朝9時前から続々と会場に人が集まり、支援金
贈呈式には支援する子どもたち381名、保護者や先生
80名、ワトシンRCメンバーと近隣のRCメンバー80名強
が集まり盛大に行われました。



式の冒頭には天皇陛下を
御前に日本の国歌を斉唱
しました。続いてタイ国歌
の斉唱を行いました。

今年度は381人の子ども
たちへ190,500パーツが
集まりました。会場を無償提供してくださったお寺の
住職から記念品をいただきました。

タイの民族ダンスによる歓迎を受け、ワトシンRC
マッチマ・タイサティット現会長挨拶の後に上田ロータ
リークラブ、MANABI外語学院も感謝状をいただき
挨拶をしました。

授与式では、子どもたち一人一人に支援関係者より
支援金を受け渡しました。



皆様のご理解ご協力のお陰で子どもたちから笑顔を
もらって国際奉仕活動は大成を収めることができました。

支援金授与以外の活動にも参加していただきましたので
ご紹介いたします。

バンコクから車で50分程度の場所にある幼稚園併設の小学校を訪問しました。

こちらMANABI外語学院が2019年から開始した困窮している小学校に対する支援活動でトイレの改修工事の費用とTV及びプリンターを寄付した経緯のある小学校に修繕後に初めて訪問しました。

ここでは学校の敷地内で野菜を栽培し、子どもたちの給食で使っています。

しかし、洪水が多い地域のため、土での栽培だけでは収穫できないということで水耕栽培に挑戦しているとのこと、こちら校長先生自ら栽培しているそうです。

こちらは1月31日に弊社の教育協定校として関係のある現地の高校へ行きました。

毎年、日本語の普及と日本文化の理解などを目的に、日本語のスピーチコンテストを行っています。今回は6名に「私の大切にしていること」を発表してもらいました。



金子会長と酒巻幹事にスピーチの審査委員をしていただきました。言葉が聞き取りにくくて審査に苦戦されたと思います。急遽、金子会長の提案で審査員特別賞を出していただきました。ありがとうございます。

こちらも大成功でした。

以上でタイ訪問の活動をご報告させていただきました。

【『ロータリーの友』紹介】

雑誌委員会 酒井 喜雄 委員長



【幹事報告】

酒巻 弘 幹事

1. 米山奨学会

ハイライトよねやま 300号

2. 地区事務所

ロータリー財団地区補助金対象
クラブ選考会のご案内

2025学年度 米山奨学生・カウンセラーオリエンテーションのご案内

2024-2025年度「第32回インターアクト地区大会」のご案内と参加登録のお願い

3. 上田西RC IM・会員セミナーのDVDについて

4. 千曲川RC 事務局メールアドレス変更のお知らせ

5. 上田西高等学校 サッカー全国大会記念誌



【ニコニコBOX】

織 英子 副委員長

石井懋人さん 伊藤典夫さん 内河利夫さん 織英子さん 金子良夫さん 上島孝雄さん 窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん 桑原茂実さん 小林秀茂さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 春原宏紀さん 滝沢秀一さん 田中克明さん 田邊利江子さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん 比田井美恵さん 保科茂久さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん 小松佳樹さん 竹田和徳さん



本日喜投額 30名 ￥ 30,000

累計 ￥1,400,000

【例会の記録】

司会：保科 茂久 会場・出席委員長

斉唱：国歌・ロータリーソング

●会長挨拶 ●幹事報告

●メインプログラム

タイ ワトシンRC訪問の報告

金子 良夫 会長 藤森 幸路さん

●『ロータリーの友』紹介

雑誌委員会 酒井 喜雄 委員長

【ラッキー賞】

土屋 勝浩さん(金子会長より 伊勢のお土産 赤ふく)

小松 佳樹さん(金子会長より 伊勢のお土産 赤ふく)

桑澤 俊恵さん(金子会長より

群馬のお土産 ひもかわうどん)



【出席報告】

保科 茂久 委員長



	本日	前々回 (3/10)
会 員 数	52	52
出席ベース	51	50
出席者数	41 コロナ欠席1	42
出席免除(b) ()内は出席者数	4(3)	4(2)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内はMake up後		3(45) コロナ欠席0
出席率	82.35	90.00

【次回例会予定】

4月14日(月) 会員卓話

職業奉仕委員会 飯島 幸宏 委員長

(4月7日発行)

【会報担当】 小林 浩太郎 会報委員長